

■下村彦右衛門 伏見商人。{大丸}の始祖。正札付現銀売りと様々な宣伝で大発展、江戸に出店し、三大呉服店に。
しもむらひこえもん
日本永代蔵・1688＝ 京都の伏見で、摂津国茨木城主中川清秀家臣をルーツとし、大坂夏の陣で浪人となったため、町人に転じて
_代々古手間屋{大文字屋}を営む家に生まれる。

生類憐令頂点1695＝ 7歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1697＝ 9歳： 長兄が夭折して、次兄が跡を継いでいたが、怠惰で優柔不断だったため、家運が傾き、
・ ・ ・ ・ ・ 1700＝12歳：この頃、窮余の策として色街の一つ宮川町に出した質屋兼貸衣装の店の手伝いを言いつけられ、

・ ・ ・ ・ ・ 1706＝18歳：_祖父の跡を継いで、古手間屋{大文字屋}を引受け、
労働多くして益の少ない仕事ながら、勤勉に働き続け、

徳川綱吉没・1709＝21歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1710＝22歳：勧められて結婚、
1男をもうけるも、

西洋紀聞・ ・ 1715＝27歳：離婚するなどした後、
徳川吉宗將軍1716＝28歳：
隅田川の桜・1717＝29歳：*苦勞の末、伏見の一隅に小さな店を開き、偶々目にした曆に描かれた図から{大丸}と号した。

・ ・ ・ ・ ・ 1719＝31歳：再婚して、生活も安定するとともに、
_現銀正札商法に徹し、次第に信用を得て繁盛するようになり、

近松没・ ・ ・ 1724＝36歳：

懷徳堂公認・1726＝38歳：_大坂心斎橋に共同出資の店を出し、

徂徠没・ ・ ・ 1728＝40歳：_名古屋に出店。大丸の屋号とシンボルマークを定め、染め抜いた風呂敷を配布するなど、宣伝に努め、
梅岩心学始・1729＝41歳：*京都柳馬場姉小路に仕入店を開設すると、正札付現銀売りを断行して、飛躍、

享保大飢饉・1732＝44歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1733＝45歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1734＝46歳：今出川大宮に出張所を設置、

・ ・ ・ ・ ・ 1737＝49歳：今出川黒門通に移転、
・ ・ ・ ・ ・ 1738＝50歳：油小路に移転。_東洞院船屋町に、堂々たる総本店を完成させるに至るものの、江戸では全く知られず、
_四大呉服商が市場を抑えていた江戸を偵察し、有利さを知ると呉服商と契約、一旦京都に戻って、大丸の
マークの入った大量の風呂敷を注文製作して、再び出府、大量の呉服を包んで運び込み、江戸町民の目に焼
き付けた上、この間、運営は支配人に託して、茶の湯や謡曲を楽しむとともに、子孫の戒めとすべく家訓づ
くりにも力を入れ、

公事方御定書1742＝54歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1743＝55歳：*ついに、大伝馬町に江戸店を開業、三井越後屋の正札販売やマーク入りの番傘商法を模倣したほか、次々
とアイディア商法を始めて、一気に大繁盛。「三家一致の定法」としてまとめると、隠居を宣言、

梅岩没・ ・ ・ 1744＝56歳：_事業を長男に譲って、剃髪し、洛東に隠居。
徳川吉宗隠居1745＝57歳：
忠臣蔵・ ・ ・ 1748＝60歳：急に身体が衰え、まもなく_没した。